

## Part IV 付表

### 1. 「ESD in 三重 2014」 行程表

### 2. 環境コンテスト受賞作品

### 3. ECO アイデア 2014 第1期 優秀賞受賞アイデア

### 4. 「アジア・太平洋環境コンソーシアム ESD 国際シンポジウム」 報告資料

「ESD in 三重 2014」成果報告

朴 恵淑 三重大学 理事・副学長

### 5. 「アジア・太平洋環境コンソーシアム ESD 国際シンポジウム」 講演資料

基調講演①「瀬戸内海・犬島における ESD 教育プログラムの開発

～ワークショップ事例発表：いぬじま探検隊～」

森下 眞行 岡山県立大学 学科長・専攻長・教授

岡山県立大学 デザイン学部学生

基調講演②「食とエネルギーの環境大国デンマークの経験に学ぶ」

ピーター D. ピーダーセン リーダーシップアカデミーTACL 代表

記念講演 「日本における国連 ESD の 10 年の成果・課題と今後の展望」

阿部 治 立教大学教授・ESD 研究所所長・日本環境教育学会会長

### 6. 分科会発表資料

### 7. 「ESD in 三重 2014」関連放送・新聞掲載情報

# 1.「ESD in 三重 2014」行程表

## 「ESD in 三重 2014」行程表 11月7日(金)

### ★スケジュール

#### Aコース

7:30～ 8:00    受付（三重大学正門）		18:50～19:50    夕食 （生協第一食堂2階）			
8:00～ 8:10	バス	点呼・バス乗車	三重大学正門到着	バス	18:40
8:50		松阪港到着	点呼・バス乗車		17:30～17:40
8:50～ 9:00		バス下車			
アジア・太平洋コース伊勢湾洋上国際環境学習（勢水丸） A（9:00～12:00）					

#### Bコース

#### ■勢水丸乗船時の持ち物、服装

長ズボン、運動靴（※スカート不可。長ズボンはベルトを着用してください。また、必ず運動靴で参加して下さい。クロックス等のサンダルや下駄、かかとの高い靴は不可。）

飲み物、乗り物酔いの薬（必要な方のみ）

# 「ESD in 三重 2014」行程表 11月8日(土)

## ★スケジュール

7:30～ 8:00		受付（三重大大学正門）
8:00～ 8:10	バス	点呼・バス乗車
9:00		松名瀬干潟到着 オリエンテーション
9:00～ 9:30		
9:30～12:00		ESD エクスカーション（松名瀬干潟）
12:00～13:00		交流・昼食（松名瀬干潟）
13:00～13:10	バス	点呼・バス乗車
13:50～14:00		斎宮歴史博物館到着・バス下車
14:00～17:00		ESD エクスカーション（斎宮歴史博物館）
17:00～17:10	バス	点呼・バス乗車
18:10		三重大大学正門到着
18:20～19:00		夕食（三重大大学 生協第一食堂2）

### ■松名瀬干潟清掃時の持ち物、服装

動きやすく汚れても良い服装、汚れても良い靴、タオル、水分（500mlのペットボトルをひとり一本こちらで用意します。）

※清掃で使用する軍手、ゴミ袋、火ばさみをこちらで用意します。

# 「ESD in 三重 2014」行程表 11月9日(日)

## ★スケジュール

8:00～8:20		受付（三重大学正門）
8:20～ 8:30	バス	点呼・バス乗車
8:50～ 9:00		三重県総合博物館到着・バス下車
9:00～11:30		ESD エクスカーション（三重県総合博物館）
11:30～11:40	バス	点呼・バス乗車
12:00		三重大学正門到着
12:00～12:50		昼食（生協第一食堂2階）
13:00～18:00		分科会（三重大学 環境・情報科学館）
12:30～13:00		受付（環境・情報科学館 1 階ホール）
13:00～13:10		開会挨拶 説明 グループ分け
13:10～15:10		分科会（PBL 演習室 2-6） ・防災学習 ・生物多様性 ・地球温暖化（気候変動） ・歴史文化遺産 ・国際理解
15:10～15:20		休憩
15:20～16:20		全体会（環境・情報科学館 1 階ホール） 各分科会発表 まとめ
16:20～18:00		宣言文作成セッション
18:00～19:00		夕食（三重大学 生協第一食堂2階）



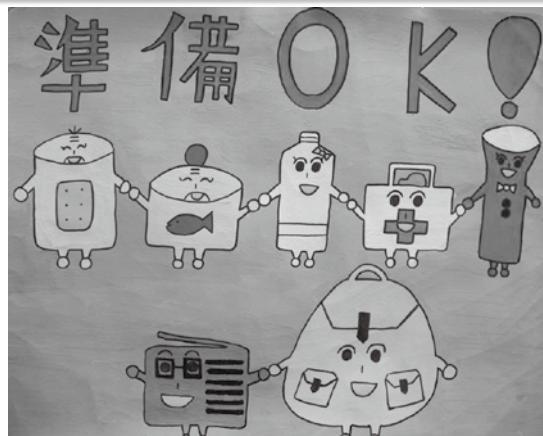
# 「ESD in 三重 2014」行程表 11月10日(月)

## ★スケジュール

9:00～ 9:20	受付（三重大学環境・情報科学館 1 階）
9:30～11:00	「映画“WOOD JOB！”と三重大学演習林」企画展示 オープニングイベント（三重大学レーモンドホール）
11:00～12:30	昼食（三重大学 生協第一食堂2階）
13:30～17:30	アジア・太平洋環境コンソーシアム ESD 国際シンポジウム （環境・情報科学館 1 階ホール）
13:00～13:30	受付（環境・情報科学館 1 階ホール）
13:30	開会
13:30～13:40	挨拶（内田淳正 三重大学長）
13:40～14:30	「ESD in 三重 2014」成果報告および表彰式 ・「ESD in 三重 2014」成果報告 （朴恵淑 三重大学理事・副学長） ・「ESD in 三重 2014」映像上映 ・環境コンテスト表彰式 ・ECO アイデア表彰式 ・受賞者インタビュー
14:30～15:10	基調講演1「瀬戸内海・犬島における ESD 教育プログラムの開発 ～ワークショップ事例発表：いぬじま探検隊～」 講演者：森下眞行（岡山県立大学 学科長・専攻長・教授） 事例発表者：岡山県立大学デザイン学部学生
15:10～15:20	休憩
15:20～15:55	基調講演2「食とエネルギーの環境大国デンマークの経験に学ぶ」 講演者：ピーター D. ピーダーセン （リーダーシップアカデミーTACL 代表）
15:55～16:25	記念講演 「日本における国連 ESD の 10 年の成果・課題と今後の展望」 講演者：阿部治 （立教大学教授・ESD 研究所所長・日本環境教育学会会長）
16:25～17:10	分科会発表（各分科会発表者）
17:10～17:30	アジア・太平洋持続可能な開発のための教育（ESD）ユース宣言
17:30	閉会
17:30～19:30	立食パーティー（三重大学 生協第一食堂2階）

## 2. 環境コンテスト受賞作品

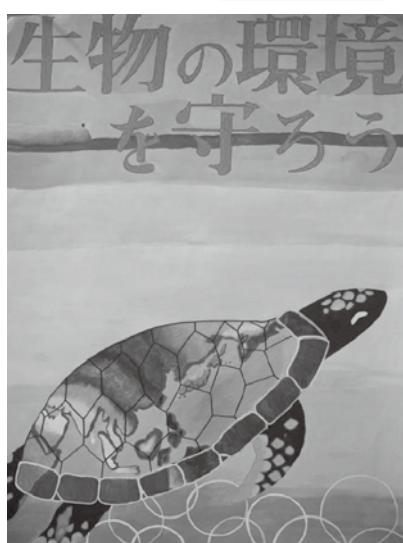
### 環境コンテスト受賞者 ポスター部門



準備OK!

最優秀賞  
三重大学長賞

紀北町立三浦小学校 高橋朋恵さん



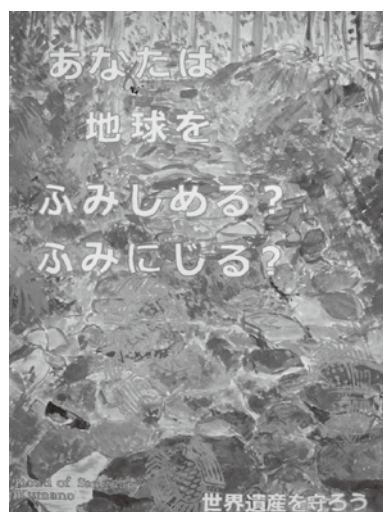
生物の環境を守ろう

優秀賞  
鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 朝井愛香さん



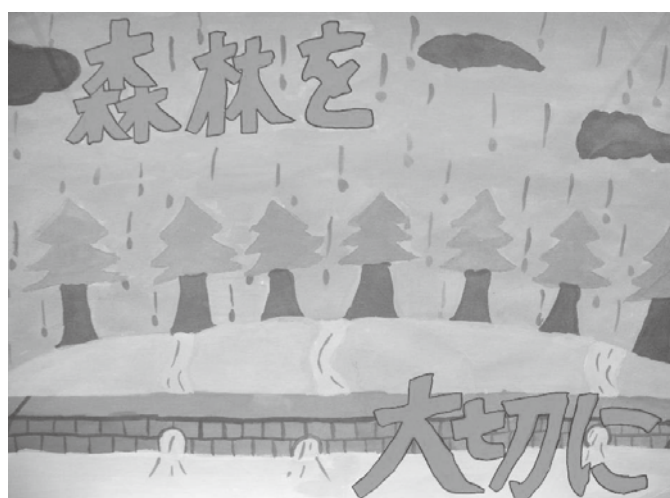
私たちは地球を守る 日本代表!

優秀賞  
鈴鹿市立白子中学校 谷川幸輝さん



あなたは地球をふみしめる? ふみにじる?  
世界遺産を守ろう

奨励賞  
鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 三谷香織さん



森林を大切に

奨励賞  
名張市立薦原小学校 大森美幸さん

考えよう  
地球の寿命  
あと何年？

最優秀賞  
三重大学長賞

梅村学園三重高等学校

東 綾菜さん

一人一人の  
意識が守る  
未来の自然

優秀賞

梅村学園三重中学校  
日高晴実さん

リサイクル  
未来をつなぐ  
とびらかも

優秀賞

名張市立名張小学校  
稲森裕次郎さん

伝えよう  
日本文化  
未来まで

奨励賞

梅村学園三重高等学校  
西出あかねさん

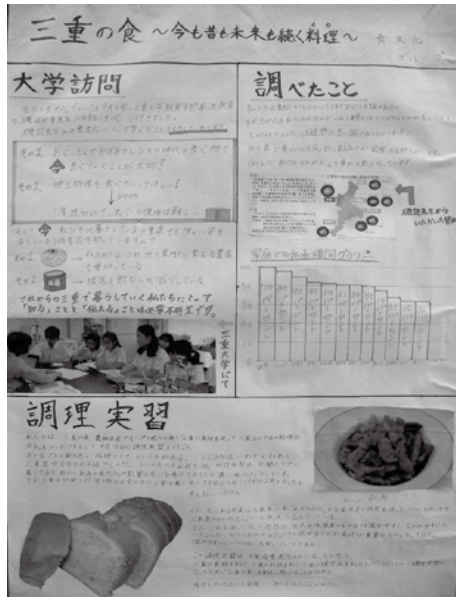
ゴミを  
へらして  
ホコリを持とう

奨励賞

三重県立木本高校  
檜作祐太さん



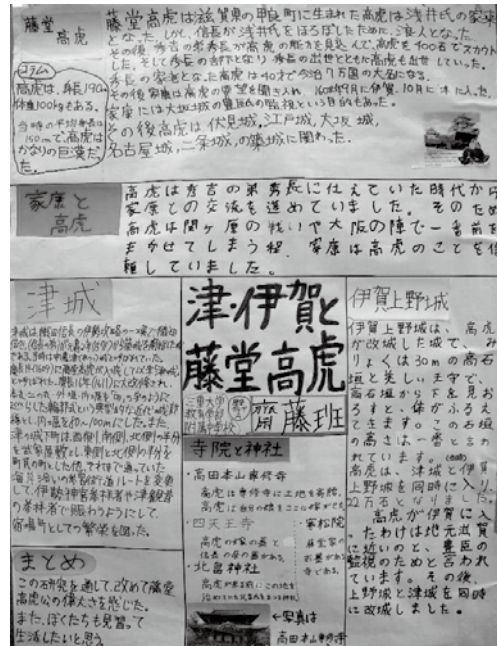
## 環境コンテスト受賞者 壁新聞部門



最優秀賞  
三重大学長賞

三重大学教育学部附属中学校  
中井蓮花さん  
牛場佳加さん  
北村姫睦さん

地域の文化財等に関する学習

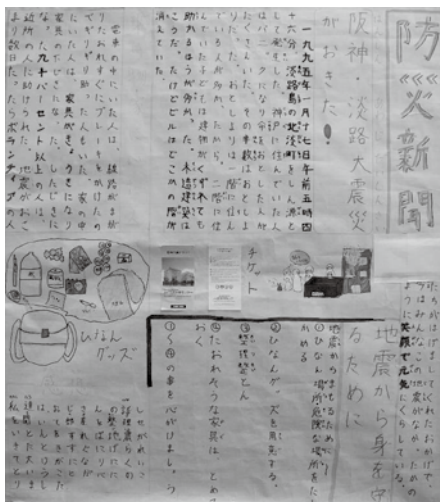


地域の文化財等に関する学習「藤堂高虎」

生物多様性「ツバメについて」

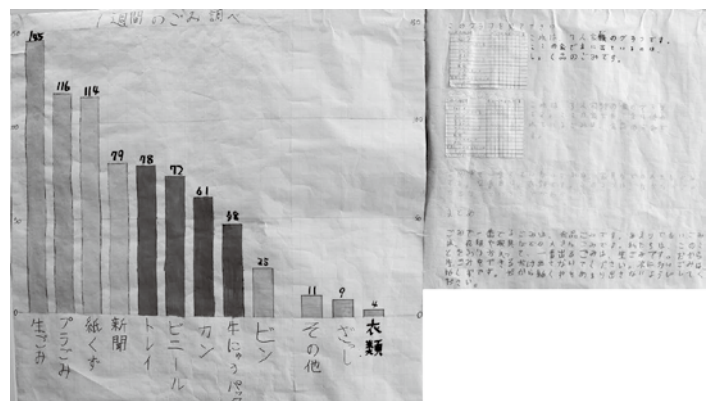
優秀賞  
名張市立蔵持小学校  
川北 李さん

優秀賞  
三重大学教育学部附属中学校  
斎藤寛人さん 長谷川竜大さん  
奥田至音さん 武田佳祐さん  
坂倉耀さん



防災 「防災新聞」

奨励賞  
名張市立名張小学校



環境学習 「一週間のゴミ調べ」

奨励賞  
名張市立箕曲小学校

### 3. ECO アイデア 2014 第1期 優秀賞受賞アイデア

ECO アイデア 2014 第1期  
優秀賞受賞アイデア 10 件

学部学生	生物資源学研究科・生物資源学部	丹羽耕平
------	-----------------	------

大学内 CoolSpotMap

学生たちに協力してもらい、大学内の冷涼スポットを理由を含めて moodle で挙げて地図化する アイデアの  
対象期間：6 月～10 月 アイデアの対象場所：大学全域 アイデアの効果：あまり知られていない冷涼場所を  
広く知ってもらうことで、その場所を効率的に利用できる

## エコアイデア

### 大学内のCoolSpotMap



生物資源学部  
共生環境学科  
513371  
丹羽耕平

## <具体的内容>

学生たちに協力してもらい、大学内の冷涼スポットを  
理由を含めてMoodleで挙げて地図化し、公布する

### 利点

あまり知られていない冷涼場所を広く知ってもらうことで、  
その場所を効率的に利用できる  
冬季は大学内のHotSpotMapの地図化に転用できる  
規模を変えれば、図書館や町レベルでの地図化も可能

職員	学務部	藤森 豊
----	-----	------

「快適な温湿度の外気を上手に取り入れる夏の室内空調」

(① 夏季と冬季の節電アイデア／省エネルギーアイデア )

部屋の空調は入れているけど、「部屋の外に出てみたら、部屋より涼しかった」という経験はありませんか。また、外の気温が 28 度にも満たないのに、冷房のスイッチを入れていることは実はよくあることと思います。もし外気が快適な温湿度であった場合、空調を利用しなくても外気を室内に取り込むことで室内は快適になるはずですが、これまでよりももっと積極的に快適な外気を取り込む工夫をすることで、かなりのエネルギーを節約できるはずです。快適かどうかは、温度だけでなく湿度がどれくらいによっても変わりますので、「不快指数」というものを利用するといえると思います。以下のようなことを実施してはどうかと思います。

1. 部屋の中に積極的に外気を取り込むことが出来るようにしておく。これは全学の取り組みとして行う。例えば、窓を開けられるように網戸を取り付ける・扇風機を置き、室内の空気が外と入れ替わるように扇風機をうまく利用してもらう・窓に吸気の出来る換気扇を設置する・積極的に外気を部屋に取り込むためのオリジナルな装置を開発して設置するなど
2. 外気の不快指数を常に監視する担当部署をつくる。いくつ以下の不快指数ならば外気を取り込むことを推奨するのかを決めておく。
3. 不快指数の状態をメールで全学に向けて知らせる仕組みを構築しておく。
4. 外気の状態が指定の不快指数を過ぎる時に、以下のように担当部署がメールで知らせる。・指定の不快指数より数値が小さくなったら、エアコンを切って外気を取り込むよう一斉メールで促す・指定の不快指数より数値が大きくなったら、外気が指定の不快指数を超えていることを一斉メールで知らせる (同時に適切な温度設定等を心がけるよう伝える) 例えば、おおよそその一日の動きは以下のようになります。朝のうちはエアコンは使わず、外気を取り込むことを推奨。お昼に近づき指定の不快指数より数値が大きくなったときは、一斉メールで知らせて同時に適切な空調の温度設定などを呼びかける。夕方になり指定の不快指数より数値が小さくなったら、エアコンを切って外気を取り込むよう一斉メールで促す。

●アイデアの対象期間：5 月～10 月 (不快指数が高くなる期間) ●アイデアの対象場所：学内全建物 (賛同し協力頂ける教職員と学生が取り組める場所) 可能であれば、他の企業や自治体などとも連携して実施できれば、なおいいと思います。

●アイデアの効果 (予測)：計算していないので解りませんが、過去 1 シーズンの気温・湿度の記録を調べ、協力頂ける人の割合などを予測してどれくらいの部屋で実施されるかを見積もれば、どのくらいのエネルギーを節約できるかは計算できると思います。

## 快適な温湿度の外気を上手に取り入れる夏の室内空調

外は涼しいけど、部屋の中は暑い...

そんなとき、エアコンのスイッチを入れる？ 入れない？

外気が快適な温湿度のときに積極的に外気を取り込む工夫を！

→ エアコンを付けずに快適な室内にしてエネルギー節減

温度だけでなく湿度も見。暑いかどうかの判断は「不快指数」で

→ 湿度の違いで暑いかどうかの感じ方はかなり違います



1. まず、部屋の中に積極的に外気を取り込むことが出来るように

- ・窓には網戸を取り付けるなど、開放できる窓を確保
- ・扇風機などで室内と外の空気が入れ替わるように(風の出口と入口を確保)
- ・窓に吸気の出来る換気扇を設置する
- ・効率よく室内と外の空気を入れ替える装置を設置する など

外のほうが涼しいときには、室内にしっかり外気を取り込むようにします

さらに、三重大学での取り組みとして... (同様にさまざまなところで可能では)

2. 外気の不快指数の変化を

メールやウェブなどで教職員・学生へ知らせる

- ・外気の不快指数を全学に向けて知らせる仕組みを構築
- ・担当部署が外気の不快指数を常に計画・監視
- ・あらかじめ決めておいた不快指数を過ぎた時にメールなどで知らせる (いくつ以下の不快指数ならば外気を取り込むかを決めておきます)

外気の温湿度が快適かどうかを伝えて無駄のない空調運用を促します

おおよそ一日をこのように！

朝 エアコンは使わず、外気を取り込んで

午前中 指定の不快指数より数値を超えたら...

→適切な空調の温度設定などを呼びかけ

夕方～ 指定の不快指数より数値が小さくなったら...

→エアコンを切って外気を取り込むように



一斉メールの送信やホームページなどで知らせます


学部学生	工学研究科・工学部	中井 有沙
------	-----------	-------

私は三重大学の木々や草花は、学生や教職員達に特別に意識されていると感じない。それは、三重が田舎であるため、自然のある風景があたりまえであるという意識が人々の中にはあり、それを活用しようとしていないからではないか。そこで、自然の素晴らしさを感じてもらうために、森の中にカフェを開いたらどうかと思う。共通教育2号館と体育館の間に木々が育っている箇所があり、月に2回程度そこにあるベンチに座ってもらって静かにお茶を楽しめるようにすればいいのではないか。この時大切なのは店を開くときのコンセプトである。一つは、自然を感じてもらうために静かに過ごすことである。大学内では夏にはセミが、秋にはコウロギなどが鳴いているし、ヒヨドリやメジロなどの鳥も出現する。二つ目には、季節感を感じてもらえて、学内の自然を活用できるものにするのである。幼いころには季節の行事を行っていたが大きくなって忙しくなるにつれて、それらを感じる暇なく日々が過ぎていくことがあるからである。三重大学では6月あたりになるとヤマモモやクコの実などの木の実が取れたり、夏には緑のカーテンにゴーヤやタイタンビカスができるので、それらを用いたメニューを作ってみるといいと思う。三つ目には、普段話さない人との交流や新しい発想に触れる機会を提供する場とすることである。相席を促したり、「〇〇についてどう思うか」というテーマに回答できて他の人の意見も見ることのできるボードを設置したりして、普段部活・サークルやバイトをしているときには考えないことを考える機会を作ることで、その人の世界が広がる場となるといいと思う。これらのコンセプトを理解してもらうことで、来店した人たちが毎日の生活に自然を感じ、それらをもっと活用していくことで、自然を大切にしていくことをもっと意識するのではないだろうか。



学部学生	教育学部	下田 菜生
------	------	-------

三重大大学においては多くの環境に関する授業が開講されているが、時間の制約や必修授業との兼ね合いによって興味のあるすべての授業を履修できるわけではない。また学習した内容についてその授業を受講した本人の中でとどまることが多く、その他学生が内容について詳しく知る機会がない。そこで環境に関して学んだことや自分がボランティア活動や市民団体に学んだことを、学生がレポートを書くのに使用して使い慣れているワードでまとめる。まとめたものをムードルを使って投稿し、その他学生にも知識の共有ができる場を提供する。ムードルを使用することで投稿者にコメントをつけることや、同じ授業を受講した学生が補足説明をすることもできる。そのうえわかりやすいものなどには評価をつけ、評価の高いものにはMIEUポイントを特別に付与する。対象期間は授業期間ではなく、長期休暇中とすることで長期休暇になっても継続的に学習でき、テストや課題などに追われていないため内容について吟味しながら投稿できる。対象場所については制限を設けないかわりに、投稿する項目を先に選ぶことであとで見るときにテーマごとにまとまって見られるようにする。効果として興味があっても受けられていなかった授業の内容を知れることによって、他分野について学習することができ生涯教育にもつなげられるのではないかな。また先生方にも見てもらうことで、学生がどのように授業を受け止めているのか相互に学ぶことができるようになるかと予想される。




### 三重大の環境知恵袋

**学生**

- ▶ 環境に関する授業が開講されていても必修授業と重なっていて受講できない
- ▶ 学習した内容が、受講した学生の中でとどまり、その他の学生が知ることは難しい
- ▶ 授業外で学んだ環境に関する知識を外部に発信する機会が少ない

**ムードルを使って共有しよう！**


- ▶ ムードルを使って学生が環境に関する知識を発信できる場を作る
- ▶ 添付ファイルをアップロードすることも可能なため、図やグラフ、パワーポイントを使用することも可能
- ▶ 他の学生や教員がコメントや情報の補足を気軽にできる



**教育学部 下田 菜生**

### その他の期待される効果

- ▶ 閲覧者がわかりやすい情報には評価をつけ、評価の高い学生にはMIEUポイントを特別に付与する
- 相互評価が可能。情報の質の向上。
- ▶ テーマや授業ごとに項目分けをする
- 情報を探しやすくする。同じテーマについて比較しやすくなる。
- ▶ 教員は学生が授業をどのように受け止めているのかを確認することが可能
- 授業の改善ができる。学生と気軽に意見の交流ができる。
- ▶ 興味があっても受けられなかった授業の内容が学べ、他分野について学習できる。
- 生涯教育につながる。



など



教員	工学研究科・工学部	北 英彦
----	-----------	------

教室の温度環境の現状把握をすべきである。→ 対策を急ぐべき教室を絞る。(1) 暑いという教室を、学生・教員に教えてもらう。Web 上で報告できるようにする。ゾーン、建物、階、教室番号、年月日、時間帯、そのた自由記述。(2) 暑いと指摘された教室で、1 週間ぐらい 24 時間温度測定を行う。適当なデータロガーを探す。A&D 温度データロガー AD-5325 がアマゾンで 7000 円ぐらい。

### 1 まず最初に、授業を行っている教室の室温を把握すべきである

問題解決の一般的な手順

- ・ 問題の認識
- ・ 原因調査と分析
- ・ 解決策の立案
- ・ 解決策の実施
- ・ 結果の評価

### 3 教室の温度環境の現状把握(2)

- (2) 暑いと指摘された教室で、1週間ぐらい24時間温度測定を行う。
- ・ 裏づけをとるために、実測する。
  - ・ 適当なデータロガーを探す。安いもので、アマゾンで7000円ぐらい。

対策を急ぐべき教室に、すだれ・サーキュラー反射フィルムなどを設置し、エアコンの使用の必要性を減らす。

### 2 教室の温度環境の現状把握(1)

対策を急ぐべき教室を絞る。→効果的な予算運用

- (1) 暑い(寒い)という教室を、学生・教員に教えてもらう
- ・ Web上で報告できるようにする。
  - ・ 暑いのか寒いのか、ゾーン(共通教育など)、建物階、教室番号、年月日、時間帯、エアコンの使用の有無、室内のおおよその人数、その他の自由記述、など。
  - ・ 温度以外のその他のさまざまな環境(照明・騒音など)について報告できるようにした方がよい。

工学研究科 電気電子工学専攻  
北 英彦

職員	施設部	宮崎 典
----	-----	------

エアコン室外機の設置位置について 学内の一部で見かけますが、エアコン室外機が近い位置(向かい合う等)に設置されており、ショートサーキットを起こしているところがあります。室外機を設置する際に少し注意することで、効率よく、無駄な消費電力を抑えることができます。すでに設置されている室外機を移動することは費用もかかるので難しい部分もありますが、対策としては有効だと思います。アイデアの対象期間：平成26年度第I期 アイデアの対象場所：学内全て アイデアの効果(予測)：20%ぐらい改善されるでしょうか。。。

## エアコン室外機のショートサーキット

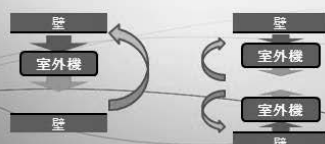
### \* ショートサーキットとは

室外機のほとんどは、前から排熱し、外気を後ろ又は側面から取り入れている。このため、狭く風通しの悪いところや、向き合わせて設置すると、排熱された暖かい熱気がそのまま給気側に戻り、効率を著しく低下させてしまう。たとえば室内機から冷気が出てこない等…

上浜キャンパスでは…



学内某所



### \* 有効な対策

工事費がかかりますが、室外機の移動をするか、風向板を設置するしかありません。新たに空調機を設置する際は、設置場所に少し気を配ってみて下さい。

施設部 施設管理チーム 宮崎 典

学部学生	生物資源学研究科・生物資源学部	森元 貴大
------	-----------------	-------

節電・省エネの ECO アイデアとして、「節電・省エネ選手権」の実施を提案します。これは大学内の各部署を対象とし、電気使用量や紙の使用量などいくつか項目を設け、その項目ごとに前年度比でどれだけ削減できたかを競います。そして、年度末に集計し、第1位になった部署に対しては、省エネ商品を贈呈し、より一層の省エネに取り組んでもらいます。学部によって電気などの使用量は異なるので、使用量そのものの数値ではなく、何%削減できたかという割合で表します。アイデアの対象期間は毎年です。毎年実施して継続的に改善していけば、かなりの成果が見られると思います。また、アイデアの効果としては、自分達が実践した省エネ活動の結果が数値によって「見える化」されることで、成果を実感できるとともに、次の環境活動へのモチベーションを高めることができます。さらに、部署間で競い合い、賞品も用意することで、より高い効果が得られると予測されます。

## 「節電・省エネ選手権」の実施

### ＜内容＞

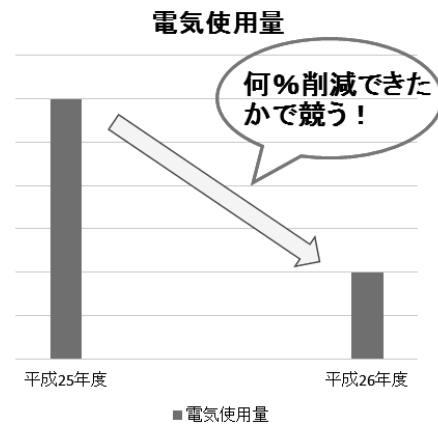
対象: 大学内の各部署

項目: 電気使用量、紙の使用量等

方法: 前年度比何%削減できたか

期間: 毎年(年度末に集計)

特典: 1位の部署に省エネ商品の贈呈

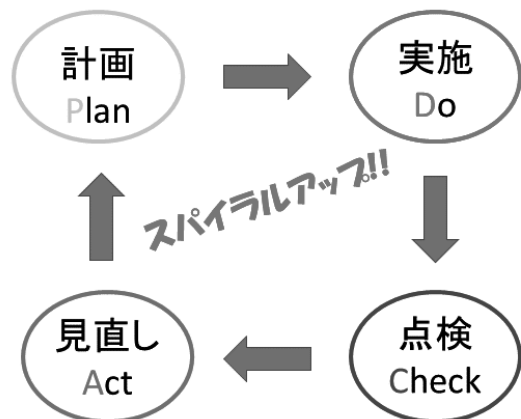


生物資源学部2年 森元 貴大

## 「節電・省エネ選手権」の実施

### ＜効果＞

- ・環境活動の見える化  
→モチベーションアップ
- ・部署間で生まれる競争意識  
→相乗効果
- ・省エネ商品の贈呈  
→より一層の省エネ活動
- ・年度末に総括と次年度の計画  
→PDCAサイクルによる継続的改善



生物資源学部2年 森元 貴大

職員	施設部	稲垣美穂子
----	-----	-------

環境・情報科学館に発電式の自転車を設置し、携帯の充電などが出来るようにする。



職員	生物資源学研究科・生物資源学部	野呂 明美
----	-----------------	-------

エアコンを稼働させる部屋の数を減らす。 あちらこちらの部屋に分散している学生の居室を夏季、冬季のエアコンを稼働させる時期には、少なくとも1研究分野に1室に限定してエアコンを稼働させる。広い事務室に1人で残業という場合、自分の机以外での作業が可能である場合は狭い部屋へ移動して作業する。

## ひろ～い研究室/事務室にて1人で作業



大容量エアコンのスイッチON



もったいない・・・



そこで提案！

夏季、冬季のエアコンを稼働させる時期

- ・研究室に朝来たらまだ自分一人だけ。
- ・残業しているのは自分とあと2～3人だけ。

そんな時には

ウォームシェア

クールシェア

小さい部屋の消費電力の小さいエアコンが設置されている部屋に集まって作業をしましょう。

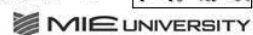
生物資源学研究科 共生環境学専攻事務室 技術専門員 野呂明美

職員	施設部	中村成次
----	-----	------

「エレベータの利用制限」 ・エレベータで3階以下の移動の際は、原則エレベータ利用禁止(台車、車椅子等特別な利用の場合は除く) 5階以上移動の際、階段を利用した人には、申請すれば1日1回まで等限定でポイント付与も検討してはどうでしょうか。 節電の効果が期待できます。

## 節電・省エネ提案～「エレベータの利用制限」～

施設部 施設企画チーム 中村成次



### 1・提案

#### エレベータの利用制限

- エレベータで3階以下の移動の際は、原則エレベータ利用禁止(台車、車椅子等特別な利用の場合は除く)
- 5階以上移動の際、階段を利用した人には、申請すれば1日1回まで限定でポイント付与。

**エレベータを使わずに階段を利用しよう !!**

### 2・効果


- エレベータ1回の利用につき、消費電力量は約125Wh、大学全体でエレベータは33台(病院除く)
- 各エレベータで1日1回、利用をがまんすると、33台で年間242日(休日除く)の消費電力量は約998,250Wh＝約998kWh
- 年間のCO<sub>2</sub>排出量は、約0.37t-CO<sub>2</sub>



# 4.「アジア・太平洋環境コンソーシアム ESD 国際シンポジウム」 報告資料

## 「ESD in 三重 2014」成果報告 朴 恵淑 三重大学 理事・副学長

「世界一環境先進大学」三重大学の  
「ESD in 三重 2014」成果報告



1. 「世界一環境先進大学」三重大学の環境戦略
2. スマートキャンパス/MIEUポイントとESD
3. 四日市公害から学ぶ「四日市学」とESD
4. 「ESD in 三重 2014」; 持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議

朴 恵淑(三重大学理事・副学長)

「世界一環境先進大学」三重大学の力を世界へ  
三重から世界へ: 地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す  
～人と自然の調和・共生の中で～



伊勢湾

理工学部 工学部 農学部 経済学部 文学部 法学部 教育学部 看護学部 国際学部

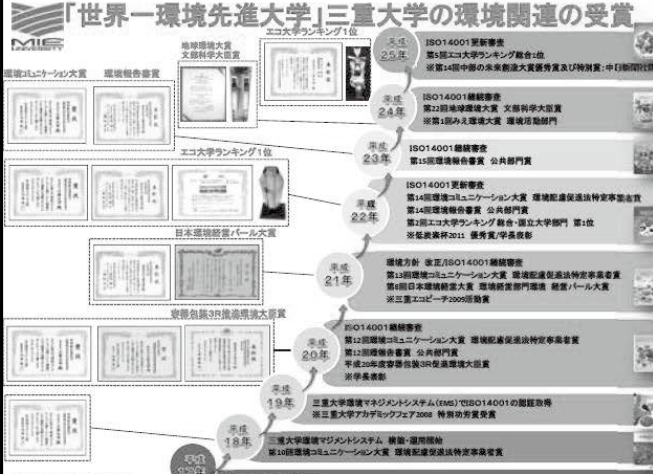
環境・情報科学館(MEIPL館)

三重大学概要(H26.5.1.)  
・敷地面積: 5,511,692㎡  
・建物延面積: 326,695㎡  
・学生数: 7,298人  
・附属学校学生数: 1,231人  
・教職員数: 1,852人  
・H25年度エネルギー使用量  
(電気)約27,640MWh  
(ガス)約4,153,000㎥  
(A重油)約564kl  
(CO2排出量)約20,966t




第22回 地球環境大賞 文部科学大臣賞  
東京明治記念館 2013年4月22日

「世界一環境先進大学」三重大学の環境関連の受賞




環境・情報科学館(MEIPL館) 2007年  
エコ大学ランキング1位 2008年  
エコ大学ランキング1位 2009年  
エコ大学ランキング1位 2010年  
エコ大学ランキング1位 2011年  
エコ大学ランキング1位 2012年  
エコ大学ランキング1位 2013年  
エコ大学ランキング1位 2014年

「世界一環境先進大学」三重大学の環境戦略



- (1) 産官学民連携の国際プラットフォームの構築
  - ・「環境・情報科学館(MEIPL館)」開館(H24.3.6.)
  - ・「国際環境教育研究センター」発足(H26.4.1.)
- (2) 三重大学ブランドの持続発展教育(ESD)の推進
  - ・三重大学ブランドの環境教育・持続発展教育(ESD)
  - 四日市公害から学ぶ「四日市学」
  - 「ESD in 三重 2014」(2014年11月; ユネスコ世界会議)
- (3) スマートキャンパスの構築/MIEUポイントの発展
  - ・創エネ・蓄エネ・省エネによるエネルギー/CO2削減
  - 2020年までにCO2を約25%削減(2010年比)
  - ・環境活動へインセンティブ付与によるエネルギー/CO2削減
  - 2020年までにCO2を約5%削減(2010年比)
  - ・スマートコミュニティへ拡大
  - オール亀山ポイントAKP; 2014年6月)

三重大学ブランドの環境教育  
持続発展教育(ESD)プログラム



持続発展教育(ESD)プログラム導入の進捗状況

学部	2013年度導入率	2014年度導入率
文学部	20%	40%
経済学部	10%	20%
法学部	0%	0%
教育学部	0%	0%
看護学部	0%	0%
国際学部	0%	0%
農学部	0%	0%
工学部	0%	0%
環境・情報科学館(MEIPL館)	0%	0%
合計	30%	60%









